

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（個人生活に役立つ講座）

「四国遍路講座」を開催しました

平成27年6月19日から7月3日までの期間、3回にわたって香川民俗学会会員の川崎正視さん、香川民俗学会名誉会員の藤井洋一さん、香川民俗学会名誉会長の谷原博信さんの3名を講師にお迎えし、「四国遍路講座」を開催しました。

第1回目は、川崎正視さんに「高松の遍路道」というテーマでお話をいただきました。高松にある札所について、地図を見ながら、何度も遍路を歩いた人々の文献を読み、今と昔の札所までの道りを比べつつ辿りました。お接待の場所など、実際に遍路を歩くのに便利な情報も教えていただきました。



第2回目は、藤井洋一さんに「四国遍路と村社会」というテーマでお話をいただきました。遍路は、不思議で神秘的なものであるということを、講師自身の体験を交えつつお話くださいました。また、歩き遍路の道沿いにある石碑や道中に見えるものについて語られている伝説についてのお話もありました。

第3回目は、谷原博信さんに「信仰街道と巡礼」というテーマでお話をいただきました。札所周辺の写真を見ながら、札所までの道しるべや接待の場所についてお話しされました。

写真や遍路道具などたくさんの資料を準備してくださっていて、とても興味深い講座となりました。札所だけでなく、それまでの道りについての情報を集めておくことで、より有意義な遍路になるということを知ることのできた講座となりました。

